

第4回定例会

一 般 質 問

要 旨



電源立地地域対策交付金は  
今後まちづくり事業に活用！

第四回定例会での市政に対する一般質問は、十一月十三日から三日間の日程で行われ、十六人の議員が登壇した。電源交付金の運用、学校建設、廃棄物処理施設などについて活発な議論が展開された。要旨は次のとおり。

一 般 質 問 者 紹 介

- 野 畑 鳥 田 江 漆 竹 今 相 紺 小 杉 工 桜 岩 野
  - 月 山 越 中 渡 畑 島 泉 馬 野 原 山 藤 田 城 月
  - 一 康 博 正 道 忠 真 勝 勝 善 龍 重 正 親 忠
  - 博 幸 郎 一 郎 幸 郎 一 郎 一 郎 一 郎 一 郎 一 郎 一 郎
- (発言順)

注) 発言順と掲載した順序とは一致しません

総務文教

競争入札について

質問 指名及び競争入札の取り組みについて、基本的な考え方を伺いたい。

答弁 入札の透明性を確保するため、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律に基づき、工事においては予定価格の事前公表、積算内訳書の提出、そして指名業者の入札前の非公開等、入札の適正に努めている。

電源立地地域対策交付金について

質問 電源立地地域対策交付金について、使途理由と今後の取り組みについて伺いたい。

答弁 これまで一貫してこの交付金は通常の補助事業や一般財源では難しいが将来を見越したまちづくりの中において、ぜひとも必要と思われる事業に重点を置いて活用してきた。今後、これまでどおりまちづくり事業や市の発展に不可欠な事業に向け、進めていく考えである。

(仮称)教育・福祉総合プラザについて

質問 (仮称)教育・福祉総合プラザ建設候補地について、具体的に伺いたい。

答弁 候補地については、中央公民館の敷地、市民図書館敷地、市民図書館西側敷地、老人福祉センター及び母子福祉会館敷地、八甲保育園跡地、亀屋跡地の六ヶ所である。そのほか、候

補地となり得る場所の提案があれば、検討場所に加え利用性、アクセス、周辺の環境及び敷地の広さ等を総合的に判断した中で敷地を決定したいと考えている。

え、住宅地としての譲渡はするべきではないと思うが考えを伺いたい。

質問 現在、産・学・官については、どのように対応しているのか。また、対策室を設けて具体的に進めていく考えはないか伺いたい。

答弁 十月三十日に北里大学と当市とで連携、協力に関する協定を結んだところである。今後はこれまで取り組んできた教育分野等の協力のほかに、新たに産業分野での協力を進める考えである。

対策室については、事業者や関係団体のニーズの掘り起こし、それから産と学との密接な連携関係の構築など、解決しなければならぬ問題も数多くあるため当面は、それぞれの担当部署等が連携をして事業を進めていく考えであり、対策室の設置は考えていない。

質問 旧学校給食センター跡地は、公共的な活用を考



学校施設の建築計画について

質問 老朽化し、既に耐震基準を満たしていないと思われる小学校が複数あるが、学校施設建築及び改築計画を策定し、市民に公表する考えはないか伺いたい。

答弁 校舎の耐震化と児童生徒の減少による学校の統合という問題を総合的に

勘案した上で、学校施設の改築計画を策定しなければならぬと考える。しかし、学校の統廃合は、地域住民の意向を十分に踏まえた調整が必要であること、学校施設等の状況、市の財政状況等によっては、計画の見直しを毎年度実施しなければならぬことが予想される。公表できる部分については、できるだけ公表していきたいと考える。

「いじめ」対策について

質問 市内の小中学校におけるいじめ対策について伺いたい。

答弁 いじめはどの子供にも、どの学校においても起こり得るものであることを十分認識し、適切な対応に努めている。具体的には、児童生徒の豊かな人間性をはぐくむため道徳教育を充実させるとともに、いじめの未然防止に向けて組織や体制を整備し、教育相談、アンケート調査の実施などにより、早期発見に努めている。さらに、いじめの発生時においては事実確認と早期対応を行い、事後指導を含めた再発防止に取り組んでいる。